



停車場通 第6号

発行：厚別中央まちづくりセンター（厚別中央4条3丁目3-6 ☎891-3907）

町内会のはなし（その3）

戦後再編された町内会は、地域の身近な問題を解決する団体として、自主的に結成されました。今でもゴミや除雪など、個人では対応できない様々な課題に、日々取り組んでいます。

ところで、地域住民が暮らしやすいまちづくりを推進していくためには、地域全体で取り組んでいくことが重要です。そのためには、多くの方々の町内会活動への参加が必要になります。しかしながら、町内会への加入率は高いとは言えず、厚別中央地区は6地区中最低の71.2%という状況です（厚別区全体は79.0%、最も高いのがもみじ台地区で95.1%）。

以下、前号に続き各町内会の紹介です。

ひばりが丘親和会（255世帯、95%）

札幌市が造成した最初の大規模団地であるひばりが丘団地の中の、戸建として分譲された南西の一画124世帯によって、昭和35年に発足しました。新興の町内会としては区内で最も古く、今年、47年目となります。



ひばりが丘新生会（679世帯、100%）

ひばりが丘団地の造成に伴い、第1期工事が竣工した昭和35年に誕生したひばりが丘三五会（市営住宅312世帯）を前身とし、昭和41年、ひばりが丘親和会と合併して発足しました（365世帯）。



3階から5階建ての市営住宅30棟に入居する全世帯で町内会を構成しており、現在の住宅は昭和60年から62年にかけて建替えられました。町内には旧馬場農場のサイロ（昭和2年築）が今に残り、往時を偲ばせます。

ひばりが丘中央会（900世帯、100%）

ひばりが丘団地の第1期工事に続き、厚別西通以東の第2期工事が始まります。



昭和 36 年には、市営住宅への入居が始まり、その年、154 世帯によって発足しました。当時の市営住宅は平屋でしたが、昭和 63 年から平成 4 年にかけて建替えられ、10 階建 11 棟を含む 31 棟の中・高層の住宅団地に生まれ変わりました。現在は、市営住宅入居の全世帯と戸建 9 世帯とによって町内会が構成されています。

ラポールひばりが丘町内会

(190 世帯、100%)

市営住宅 E 棟の建替えに呼応し、ひばりが丘団地内に、平成 2 年、北海道住宅供給公社によって 14 階建て 190 世帯の分譲マンションが建設されました。そして、翌年 5 月 26 日、厚別中央地区では唯一の集合住宅単独の町内会が結成されました。



「ひばりが丘」という名前は、市民からの公募により名づけられ、「春、ひばりののどかなさえずりが聞こえる丘」にちなんでいます。

旭町町内会、ひばりが丘中央会、ひばりが丘新生会、ひばりが丘親和会及びラポールひばりが丘町内会の旧旭町部の 5 町内会では、昭和 43 年、「ひばりが丘・旭町連絡協議会」を組織し、夏まつりなどの行事を合同で実施しています。

地域で活動する団体・ひと

村上純子さん



村上さんは、今年 8 月に開催された日本海オロロンライントライアスロン国際大会()で、10 連覇の偉業を成し遂げたトライアスロン歴 20 年のベテランです。トライ

アスロンでは、80 年代後半から 90 年代前半にかけ国内敵なしで、国内有数のトップアスリートであるばかりではなく、国際大会でも数々の成績を収められてきました。

とりわけ 1989 年(平成元年)10 月にハワイ島で開催された、トライアスロンの世界最高峰の大会であるアイアンマンハワイでは、プロ選手を含めて女子総合 12 位の成績を挙げました。このときのタイム 9 時間 59 分 46 秒は、年齢別としては、現在も破られていない記録です。また、自己最高となる 9 時間 55 分 33 秒は、今も日本人女子のコースレコードとなっています。(厚別中央在住)

国内最長距離の大会で、留萌管内 9 市町村を舞台に、増毛港でスイム 2km、増毛から幌延で折り返し遠別まで自転車 200.9km、遠別から羽幌までラン 41.8km の合計 244.7km を 10 時間程で走破します。なお、財政難のため今年限りで大会は中止されます。

厚別中央地区まちづくり会議が管理・運営するホームページも併せてご覧ください。

<http://www.community.sapporocdc.jp/city/atsu-chuo/>

まちセンだより「停車場通」は、厚別区のホームページからもご覧いただけます。

http://www.city.sapporo.jp/atsubetsu/machi/at_chuo/index.html